



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場会社名 株式会社ゲオホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2681 URL <https://www.geonet.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）遠藤 結蔵
問合せ先責任者 （役職名）執行役員グローバル経理財務部GM （氏名）梶田 義章 TEL 052-350-5711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	104,460	4.3	3,993	△8.5	4,249	△22.5	2,438	△31.3
2025年3月期第1四半期	100,147	△6.2	4,366	△24.6	5,481	△22.5	3,547	△26.5

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 2,344百万円（△34.4％） 2025年3月期第1四半期 3,572百万円（△25.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	61.39	61.14
2025年3月期第1四半期	89.34	88.90

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	268,664	92,146	34.2
2025年3月期	252,807	90,469	35.7

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 91,913百万円 2025年3月期 90,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		17.00	—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	470,000	9.9	11,500	2.2	11,000	△10.0	5,500	21.2	138.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	39,734,052株	2025年3月期	39,718,052株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	81株	2025年3月期	41株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	39,723,786株	2025年3月期1Q	39,706,599株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済環境は、緩やかな景気回復基調を維持したものの、依然として物価高騰の影響が家計を圧迫し、消費者の節約志向と「賢い消費」への意識が強く見られました。同時に、SDGsへの関心の高まりから、使い捨てではなく、長く大切にモノを使う「循環型消費」への意識が社会全体でさらに浸透しました。

リユース業界におきましては、環境意識と節約志向の両面から、市場は引き続き堅調に拡大しました。特に、日常的に発生する「まだ使える不用品」のリユース需要が高まり、フリマアプリ等の競合がある中で、手軽さ、安心感、そして多様な品目の買取販売に対応できる店舗の利便性が改めて評価されております。

このような環境のなか、当社グループは「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、お客様の選択可能性を広げ利便性を向上するため、インターネットを介した電子商取引の拡充の他、2nd STREETを中心としたリユース店舗の新規出店を、国内及び海外において推進し持続的成長の実現に取り組んでおります。

リユース系リユース商材の動向といたしましては、新品よりも手頃な価格で購入できるリユース品への需要が高まり、中古品の購入が一般的になっており、衣料・服飾雑貨を中心に好調に推移し、リユース市場拡大に比例し成長しております。海外地域においては、新たにシンガポール、香港に出店し、活動範囲を広げ、世界のリユース市場における認知度向上を図り各地域において支持を集め、店舗数・売上を拡大しております。リユースラグジュアリー商材を扱うOKURA TOKYOは、前期好調だったインバウンド需要の落ち着きとトランプ政権による関税政策の不透明感により、非常に厳しい状況となりました。以上の結果、リユース系リユース商材全体の売上は減少し、売上高は前年同期比3.7%減の44,510百万円となりました。

メディア系リユース商材の動向といたしましては、次世代家庭用ゲーム機「Nintendo Switch 2」の発売を控え旧モデルのゲーム機本体の買い控えが発生し、リユースゲーム関連商材は減収となりました。スマートフォンやタブレット端末等のリユース通信機器商材につきましては、新生活需要に加え、店頭サポートスタッフを配置した「GEO mobile」をショッピングモール等への出店が増えたことにより好調に推移しました。以上の結果、メディア系リユース商材全体の売上高は前年同期比2.3%増の19,910百万円となりました。

新品商材の動向といたしましては、次世代家庭用ゲーム機「Nintendo Switch 2」の発売に伴い、周辺機器を含むゲーム関連の売上が好調に推移し、売上高は前年同期比24.4%増の26,446百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高104,460百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益3,993百万円（前年同期比8.5%減）、経常利益4,249百万円（前年同期比22.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,438百万円（前年同期比31.3%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

() 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店			F C店・代理店			合計	
	出店数	退店数		出店数	退店数			
ゲオグループ店舗数	2,069	40	14	139	0	4	2,208	(+22)
GEO	961	4	9	84	0	4	1,045	(△9)
2nd STREET (国内)	839	16	2	55	0	0	894	(+14)
2nd STREET (米国)	48	2	1	0	0	0	48	(+1)
2nd STREET (台湾)	41	2	0	0	0	0	41	(+2)
2nd STREET (マレーシア)	26	3	0	0	0	0	26	(+3)
2nd STREET (タイ)	4	0	0	0	0	0	4	(0)
2nd STREET (シンガポール)	1	1	0	0	0	0	1	(+1)
2nd STREET (香港)	1	1	0	0	0	0	1	(+1)
OKURA TOKYO (おお蔵)	24	0	0	0	0	0	24	(0)
LuckRack	30	3	0	0	0	0	30	(+3)
その他	94	8	2	0	0	0	94	(+6)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗（屋号：GEO、GEO mobile）をカウントしています。

3. 2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗（屋号：2nd STREET、Super 2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等）をカウントしています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は180,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,740百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が9,168百万円、商品が7,721百万円増加したことによるものであります。固定資産は87,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加いたしました。これは主に使用権資産（純額）が336百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる繰延税金資産が372百万円減少した一方、建物及び構築物（純額）が229百万円、有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる建設仮勘定が472百万円、敷金及び保証金が402百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、268,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,856百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は43,309百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,293百万円減少いたしました。これは主に買掛金が656百万円、その他流動負債に含まれる賞与引当金が1,059百万円及び未払金が1,557百万円、未払法人税等が895百万円減少したことによるものであります。固定負債は133,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,472百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が17,825百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、176,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,179百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は92,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,676百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,438百万円及び剰余金の配当675百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.2%（前連結会計年度末は35.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,090	69,259
売掛金	15,930	14,690
商品	73,887	81,608
その他	15,334	15,426
貸倒引当金	△170	△172
流動資産合計	165,072	180,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,307	20,537
使用権資産（純額）	22,173	21,836
その他（純額）	13,802	14,116
有形固定資産合計	56,283	56,490
無形固定資産	5,030	5,042
投資その他の資産		
敷金及び保証金	19,834	20,236
その他	7,414	6,908
貸倒引当金	△826	△826
投資その他の資産合計	26,421	26,318
固定資産合計	87,735	87,851
資産合計	252,807	268,664
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,686	12,030
1年内返済予定の長期借入金	10,849	11,124
その他	23,066	20,154
流動負債合計	46,603	43,309
固定負債		
社債	12,175	12,175
長期借入金	71,475	89,300
リース債務	23,549	23,183
資産除去債務	7,655	7,681
その他	880	868
固定負債合計	115,734	133,207
負債合計	162,338	176,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,263	9,276
資本剰余金	3,676	3,689
利益剰余金	77,527	79,289
自己株式	△0	△0
株主資本合計	90,467	92,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	9
為替換算調整勘定	△232	△351
その他の包括利益累計額合計	△223	△342
新株予約権	160	156
非支配株主持分	65	76
純資産合計	90,469	92,146
負債純資産合計	252,807	268,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	100,147	104,460
売上原価	58,453	59,646
売上総利益	41,694	44,813
販売費及び一般管理費	37,328	40,820
営業利益	4,366	3,993
営業外収益		
為替差益	770	82
不動産賃貸料	301	283
受取保険金	55	126
その他	190	114
営業外収益合計	1,318	607
営業外費用		
支払利息	94	196
不動産賃貸費用	107	90
その他	0	63
営業外費用合計	202	351
経常利益	5,481	4,249
特別損失		
減損損失	16	35
特別損失合計	16	35
税金等調整前四半期純利益	5,465	4,214
法人税、住民税及び事業税	1,311	1,376
法人税等調整額	576	375
法人税等合計	1,888	1,751
四半期純利益	3,576	2,463
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,547	2,438

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,576	2,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	0
為替換算調整勘定	△2	△118
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△0
その他の包括利益合計	△4	△118
四半期包括利益	3,572	2,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,541	2,319
非支配株主に係る四半期包括利益	30	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,416百万円	1,754百万円
レンタル用資産減価償却費	682	674
のれんの償却額	43	37